

板橋区史跡公園（仮称）整備事前展示事業の実施報告について

史跡公園の整備に先行する形で、今年度から新たに史跡に関連性の高い分野を取り上げた事前展示事業を実施することとし、その初回を行ったので報告する。

1 事業名称

板橋区史跡公園（仮称） 整備準備展覧会シリーズ「工都」光学 レンズを通してみると

2 目的

平成 29 年度に国史跡に指定された「陸軍板橋火薬製造所跡」と歴史的に深いつながりを持つ区内産業との関係性に着目し、区内産業の歴史的な展開と、現在の区内企業が誇る優れた製品や研究・技術を紹介し、史跡公園整備に向けた機運の醸成を図る。

3 実施日時・場所

令和4年1月24日（月）から1月30日（日）午前9時から午後5時まで
区立中央図書館図書館ホール

※上記期間に、近隣の教育科学館でも関連展示を行った。

4 事業概要

本事業は平成 26 年度から行っている史跡公園整備事業と調査研究の成果を、整備に先行するソフト事業の一環として、さまざまな世代の区民に向けて、展覧会を中心にわかりやすく示していくものである。今回は光学産業を取り上げ、展示および関連する講座やワークショップ等の関連事業を実施した。

（1）事前展示 「工都」光学 レンズを通してみると

板橋区と株式会社トプコンとの包括連携協定によって行われた三次元測量調査や、日本大学との共同研究による文化財分野における光学技術の応用の可能性などを紹介した。

（2）関連事業 光学ワークショップ ～カメラの仕組みを知ろう～

オリンパス株式会社と、区内企業であるチームオプト株式会社の協力のもとに、小学生以上の親子を対象に、カメラの原理であるカメラオブスキュラを工作した。

（3）関連事業 測量ワークショップ ～距離と高さを測ってみよう～

株式会社トプコンの協力のもと、小学生以上の親子を対象に、最新の機械を使った測量体験を行った。

（4）関連事業 文化財講座 近代化遺産

板橋火薬製造所の歴史と史跡の価値や、志村地域の工業化による「工都」板橋の礎の形成など、展示の内容をより深めた講義を行った。

